

自治会長研修視察報告

森の里地区自治会連絡協議会
副会長 鹿野 健

自治会長研修視察が7月10日～11日の2日間に渡り、133名の参加により実施されました。10日早朝より文化会館に集合し、小林市長に見送られ大型バス3台に分乗し、一路岐阜市研修会場へと向かいました。車内では、各自自治会長が自治会活動の意見交換をし、参考にしました。研修会場では、私たちが自治会長を、岐阜市自治会連絡協議会会長はじめ多数の役員の方々が歓迎してくれました。そして、小野寺副会長の進行により、中野会長、岐阜市長のあいさつで意見交換会に入りました。その内の主な項目を紹介させていただきます。

①自治会組織について
岐阜市の人口は現在42万2,600人、自治会数2,585自治会、地区連合会は50地区で構成され、自治会加入率は68.4%です。
②自治会未加入世帯について
岐阜市も自治会加入対策には大変苦慮しております。災害時における助



岐阜市との意見交換会

け合い、地域の親睦、交流を図ることが出来るなど様々な利点がありますが、理解してもらえないという悩みがあるようです。未加入世帯へは、厚木市と同様、加入チラシを配布しています。しかし、なかなか効果が上がっていないのが実情であり、加入率を上げる妙案はなさそうです。

③ごみの回収状況等について
資源分別回収は自治会連合会が中心となって、月一回実施しており、ごみ減量の成果は上がっています。自治会未加入者のごみ問題については、未加入者の方がごみ出しに来ることも当然ありますが、拒否するわけにもいきませんし、黙認している状況というこ

④防災対策組織について
連合会ごとに自主防災隊が組織されており、連合会長が防災隊長を兼務しています。厚木市と同様、自治会組織がそのまま自主防災隊となっており、防災訓練についてはほとんどの地域で行われています。従来からの小学校などに集まって行う集合型のほか、より地域に密着した発災型の防災訓練も行われています。
⑤自治会と行政との関係について
地域に向けての意見交換の場として、年一回、市長トークというものが各地区で開催されています。普段から連合会と市長とは、コミュニケーションを深める機会があり、連携が図られています。
そして意見交換会は、佐藤副会長の閉会のあいさつにて終了いたしました。今回の研修視察には、初対面の自治会長さんが多く参加していただき、今後の自治会活動を行う上で大変有意な研修視察ができました。
最後に自治会役員の皆様、有難う御座いました。各自治会の益々の発展と自治会の皆様のご健勝をご祈念申し上げます。

平成19・20年度役員紹介

会長	中野正義	(睦合南地区)
副会長	小野寺信郎	(荻野地区)
会 計	佐藤信雄	(緑ヶ丘地区)
庶 務	大久保盛造	(厚木南地区)
	大塚 剛	(依知北地区)
	関戸 彰	(厚木北地区)
	倉田 紀夫	(依知南地区)
	鈴木 泉	(睦合北地区)
	遠藤清臣	(小鮎地区)
	横沢義雄	(南毛利地区)
	塩川一美	(南毛利南地区)
	宮内一男	(玉川地区)
	坂口雅志	(森の里地区)
	大貫英雄	(相川地区)
	大川 弘	(厚木北地区)
	池内賢二	(厚木南地区)
	青島徳尚	(依知北地区)
	小島一郎	(依知南地区)
	志水武志	(睦合北地区)
	山本 茂	(睦合南地区)
	神崎英男	(荻野地区)
	高足貞治	(荻野地区)
	遠藤喜良	(小鮎地区)
	関口正昭	(南毛利地区)
	飛鳥井光治	(南毛利地区)
	井上隆之	(南毛利南地区)
	黄金井秀夫	(玉川地区)
	鹿野 健	(森の里地区)
	高橋京一	(相川地区)
	古長重幸	(緑ヶ丘地区)
	森屋駿義	(相川地区)
	笹山恵一郎	(緑ヶ丘地区)

自治会 第52号 あつぎ

目 標

- ◎みんなの手で育てようあすの自治会を
- ◎地域づくりは市民の民主的・自発的な活動から
- ◎行政と共同で築く豊かな文化

発行 厚木市自治会連絡協議会
編集 自治会連絡協議会広報部
電話 046-225-2101

「ふれ愛 助け愛 支え愛」の地域社会を

厚木市自治会連絡協議会
会長 中野 正義

皆様には、日頃から自治会活動に温かいご理解とご協力を頂き心から感謝申し上げます。自治会は市民福祉の向上発展のため、各種行事や活動を通して豊かな地域社会の形成を目指しています。教育力や抑止力を高めながら安心安全なまちづくりを推進している唯一の市民自治組織です。厚木市自治会連絡協議会の組織としては現在、217自治会を14地区に分け構成されています。主な活動は、防犯や防災、交通安全、資源回収やごみ減量、地域福祉などの活動を始め、多岐に渡っております。

紙面をお借りして皆様にくつかお願いを申し上げます。自治会未加入の方々の対策として魅力ある自治会にな



厚木市自治会連絡協議会
中野 会長

るよう努力いたしますので、一人でも多くの方に「ご加入頂きたい」と思っています。自治会の様々な活動に関心を寄せて頂き一層住みやすい地域にして参ります。
市内の犯罪認知件数は、5年前の7,163件から約3,000件減少し、平成18年度には4,274件となりました。この治安回復は厚木警察署、行政の力のもとより、自治会によるたゆみない努力の結果です。家庭、学校、地域、行政それぞれの連携と協力体制のもとで1件でも犯罪を減少させるために知恵を合わせ、地域の和により輪をさらに広げて参りましょう。
また、いつ起こるか分からない大地震の対策は「備えあれば憂いなし」。普段からいかに良いお付き合いが出来ているかが、いざという時の大きな助けになります。阪神淡路大震災で亡くなられた方の8割は最初の14分間に建物の崩壊により圧死されたそうです。この教訓から耐震補強が重要な課題と

なります。障害者や独居老人、要介護者等の方々を援助する対策も講じる必要があると考えております。また、一刻を争う心肺蘇生法や自動体外式除動器「AED」使用による救命救急法も重要です。各地域等での講習会には是非ご参加ください。どなたにでも人命救助が出来るよう進んで取得して頂きたいと思っております。
現在、生活習慣病が増え続け、国家予算の3分の1が国民医療費を占め、更に2015年には65歳以上が4人に1人の超高齢化社会を迎えます。今や、がん、心疾患、脳疾患で亡くなる方が54秒に1人、認知症が6分に1人、糖尿病は国民病といわれるほど増え続けています。そこで厚木市は『健康日本21』を受けて『健康あつぎ21』を設定していますが、私達も健康についての知識を深め、ぜひ元気で明るい人生を送りたいものです。
このように各自治会会員の皆様にご協力頂く事により、厚木の未来を担う子ども達のために『ふれ愛 助け愛 支え愛』の地域社会を築いていくことが自治会連絡協議会の使命かと思っております。ですのでよろしくお願ひ申し上げます。皆様の益々のご健康とご活躍をお祈り申し上げます。

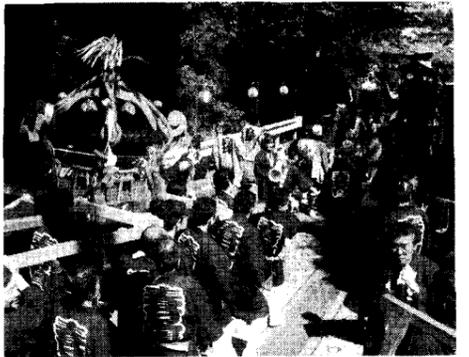
全員参加で心豊かなふるさとづくりを目指して

温水第一自治会(南毛利地区) 会長 小瀬村 泰久

温水第一自治会は、第二・第三自治会と連合を組み活動をしています。自治会周辺には、南に防災の丘公園と春日神社の森が茂み、その北側に住宅・老人憩の家・児童館・自治会館などがあり、さらに恩曾川に沿って田畑が広がり、昨年末には市道44号線も開通、その向こうには厚木市街が望まれます。このように森・川・田畑に囲まれた緑豊かな環境に恵まれております。

住民構成は、農家の旧住民と新住民が互いに交流しあって、明るく住み良いまちづくりに努めています。安心して安全なまちづくりに関しては今年度連合自治会として、防犯モデル地区の指定を受けて活動中であり、5月より防犯監視所の設置と巡回パトロールを実施しています。巡回に当たっては、各グループ毎にリーダーを決め、パトロール中に気付いたことや問題点を報告、記録用紙に記入し、改善と今後の防犯活動に役立たせる様にしています。特に、駐在所の伊藤巡査に毎回参加いただき、指導、協力をいただいております。

ふれあい住民の安心安全のまちづくりにとって大切な活動です。当地域では年間を通して4月の神社春祭り・7月の盆踊り・1月のどんと焼き



春日神社の例大祭

等、連合自治会・各種団体が協力しての全体活動があり、さらには各地区において様々なふれあい祭りが行われています。

春日神社には、市の重要文化財指定の石灯籠があり、毎年例大祭が行われ500名を超える観客による盛況を呈し、「広報あつぎ」で採り上げられたことは私たち地域の誇りとすると考えています。盆踊りはこの地域における伝統文化の行事であり、自治会の重点事業です。今年はこの盆踊りを更に盛り上げようと、JAあつぎ温水女性部の皆様に協力をいただき、そこの浴衣で踊りに華を添えていただきました。これまでにない盛況となり、子供からお年寄りまで多くの方が参加し、心行くまで楽しめました。夏はやっぱり浴衣で盆踊りです！

どんと焼きは青少年健全育成会が主催し、各種団体の協力のもと、毎年1月中旬に開催されています。児童館で子供達が団子を作り、お飾りや門松

我が自治会

金田中部自治会(依知南地区) 会長 小嶋 勝弘

本厚木駅から約3キロ、依知台地の南端に位置する金田地区は、中津川と相模川に挟まれ田園風景の残る兼業農家の数多い地域であります。

中部自治会は、上部自治会と東部自治会の真ん中であって、中心部の南北800メートルの市道沿いの家々と周辺部の分家等による320戸、アパート等を加えて約360世帯を擁する自治会です。

自治会活動は、上部自治会、中部自治会及び東部自治会の3自治会で、「金田連合自治会」を組織し、共有地の管理、金田自治会館の管理、夏祭り等、年中行事の実施等、共同して管理運営しております。また、別途設置しております「金田まちなみ委員会」に参画し、中津川の雑木、雑草等の伐採等を全住民協力のもとに実施し、親水空間の創造、河川環境の再生等を住民の「力」で行なった所であり、本年も引き続き重機による整備、草刈り等を実施し、河川の原因を取り戻す努力を重ねていくと共に住環境の向上にも意を注いでいるところであります。

中部自治会活動は、行政側からの指導、助言による活動が主な事業となりますが、毎年、全住民を対象に中津川河川敷での「バーベキュー大会」に共



中津川の草刈り

催し、老若男女多数の人々の参加を得て、地域融和と活性化に大きな効果を得、自治会活動の源泉とも成っております。

一方、少子高齢化の波は中部自治会活動にも影響を与え、健康まつり等の行事に於ける顔触れは年々高齢化し、若年層の参加や、子ども会との連携の在り方、また、世代間交流事業等、自治会活動の在り方等と絡めて、その方向性を模索していかなければと痛感する今日です。

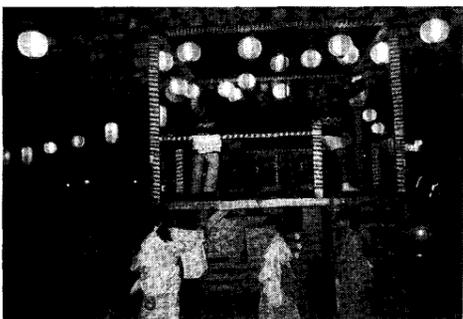
最後に、金田地区には、ゴミ焼却場である「環境センター」が建設されて以来、市内のゴミ焼却を一手に受け持つてきた地区であり、本件における現在の情勢等に住民一同強い関心を抱くと同時に、現在、さがみ縦貫道路も建設中であり、周辺部における環境変化に対する住民意向のコンセンサスが課題でもあり、意見を共有した行動をしまいに存じます。

地区内の親睦と住み良い環境づくりを目指して

下川入第一自治会(睦合北地区) 会長 松野 一男

下川入第一自治会は、地理的には厚木市の北部に位置し、上段と下段に分かれています。東側に上依知地区(北小学校・藤塚中学校)があり、北側は愛川町中津の工業団地、そして西側には中津川を挟んで大山を仰ぎます。上段には諏訪神社(市の指定文化財)があり、下段には下川入自然園があり、周囲には田んぼが広がっています。自然と環境には大変恵まれた所です。我が自治会は現在、会員数も500余の大所帯となり、自治会活動も地域の伝統行事や睦合北地区公民館の年間行事を通じて、下川入第二第三自治会と共に

注連縄を持ちより、農家の協力により恩曾川近くの田んぼに道祖神を祀る祠に組上げます。これも農家の提供による孟宗竹を軸に築きます。壮大な火祭りの後に団子を焼き、トン汁や飲み物と一緒に食し、一年の無病息災を祈る伝統行事です。このように様々な行事が毎年、盛況に実施できるのは地域住民の強い絆の証しであると思っております。これからも皆様の協力をいただき、様々な活動を展開し、安心して安全なまちづくりに努めていきたいと思っております。



平成19年度納涼盆踊大会スタートです

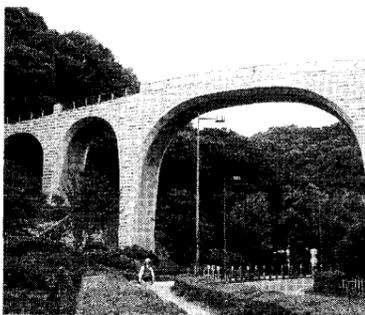
に連携を取りながら、近隣地域とのふれあいを図っています。特に毎年開催の「納涼盆踊大会」では、会員相互の親睦及び地区内外との交流・発展を期して盛大に実施しております。また子ども会による出店も多数あり、子供達も夏休みに入り多くの参加者が有り、きつと心に残る思い出が出来たと確信しています。また役員・班長による防犯灯のチェック・防犯パトロール等明るい住み良いまちづくりを目指し、活動を続けています。今後、地区内の親睦と住み良い環境づくり、そして地域は社会の発展に寄与する事が大事と考え、会員の皆様方の理解と協力を得て自治会活動に努力したいと思っております。

霊峰、大山を望む

七沢地区自治会連絡協議会(宝川地区) 会長 黄金井 秀夫

七沢地区は、旧年代から七沢温泉郷として、自然を愛する都会の方々から親しまれ、十数件の旅館が軒を連ね昔懐かしい面影と風情を感じさせ心を和ませてくれます。土、日ともなればハイカー達が、一日の汗を出で湯で流し、憩の一時をのんびりと過ごしている温泉郷でもあります。そして、近くには県立七沢森林公園が両手を広げるように来園者を出迎えてくれます。森林公園のシンボルは道路をまたぐ様に公園の山裾に架けられた森のかけ橋(橋名)です。里山を公園とし、山林をはしるハイキングロードは、手入れもしっかりとされ、子供連れ、中高年者向けの森林浴可能な里山公園です。この公園の一角では11月初旬に、自治会協賛による森のまつりが行われます。おとずれたハイカー達もまつりを見学したり、二重の楽しみに目を細めている状況が散見されます。

そんな七沢地区の自治会活動に触れて見たいと思っております。自治会は9地区に分かれており、1自治会33戸、88戸と、少数体制の編成により、会員一人一人に耳を傾け気配りの出来る活動に取り組んでいます。今年度は全会長が新人のため、不慣れた活動に頭を捻り取り組んでいます。8月初旬には年間の一大イベントである、七沢地区納



森林公園の山裾に架けられた「森のかけ橋」

涼祭を無事に成功させることが出来ました。地区自治会員に喜びと満足感を得ていただくことが我々に与えられた使命と任務であり、また喜びでもあることを実感致しました。自治会長の行動と判断により意思の疎通を図り、会員の更なる定着と新規加入者の増大、脱会者を出さないことを肝に命じました。また地区内には霊山、鐘ヶ嶽(標高561m)は古くから知られ、浅間山とも呼ばれ鐘ヶ嶽山頂付近には、七沢浅間神社が建立されています。祭神は木花咲耶姫命、大山祇命、菅田別命、の三柱がまつられています。鐘ヶ嶽にはこの神社への参道があり、ハイキングコースにもなっています。1月26日の六夜祭、祭事に伴ない9自治会が輪番制で年初めに参道整備、清掃を行なっています。この活動も会員の理解と協力によって行われる年間行事の一つでもあります。これからも、地区会員の絶大なご支援を頂き、目的の達成と信頼度向上に取り組んでいきたいと思っております。